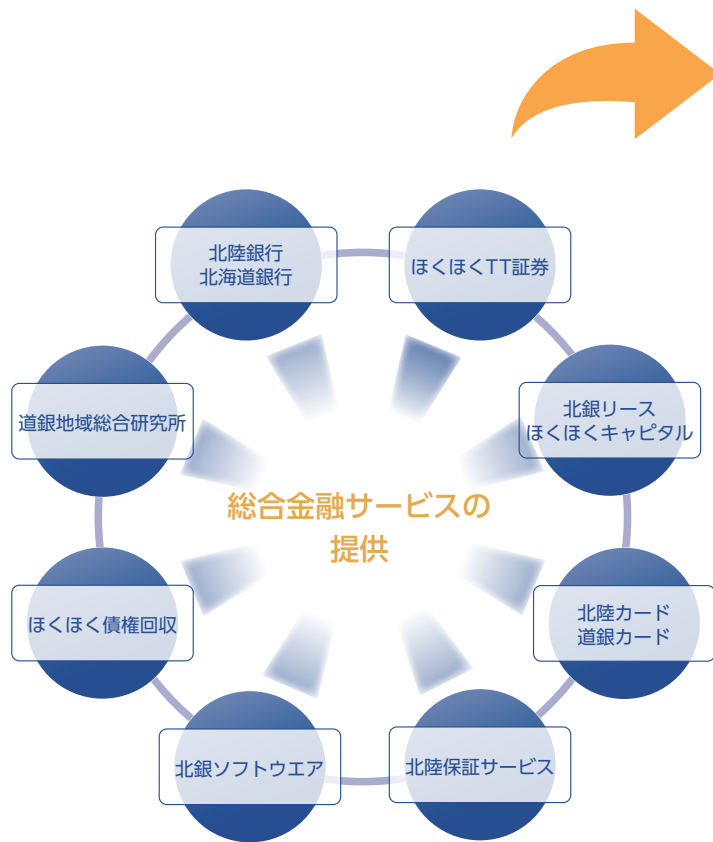




当社グループの特徴である「広域営業基盤」を最大限に活用し、お客さまに「価値」を提供すべく、北陸銀行と北海道銀行におけるシナジー効果の追求に向けた連携を更に加速してまいります。  
さらに、リース・カード・不動産・システムなど金融・非金融の枠組みを超えた総合サービスの提供を強化してまいります。



グループ連携による  
お客さまへの付加価値提供

販路拡大支援

- ・ほくほく連携によるビジネスマッチング

資金調達手段の多様化

- ・北銀リースとの連携によるリース提案

運用提案の高度化

- ・ほくほくTT証券との連携による幅広い運用提案

デジタル化・DX支援

- ・北陸カード・道銀カードによるデジタル化
- ・北銀ソフトウェアによるDX支援

ファンドによる支援

- ・ほくほくキャピタルによるファンド出資

【当社の企業価値向上】

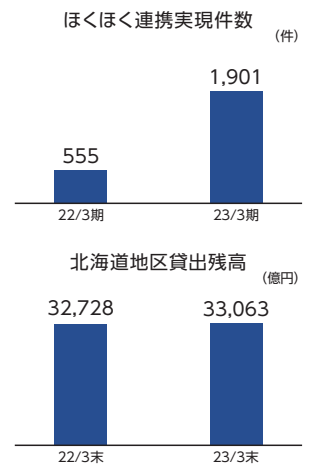
- 収益獲得機会の増加 採用力の強化
- 専門スキルの共有・高度化
- 経営資源の共有による合理化

販路拡大支援

北陸銀行および北海道銀行は、広域店舗網を活用し、お取引先の販路拡大の支援や情報提供などに積極的に取り組んでいます。  
北陸銀行と北海道銀行のお取引先を結びつけるビジネスマッチングや協調融資など“ほくほく連携”の実現件数は飛躍的に増加しています。  
引き続き当社グループの特徴を活かした取組みを強化することで、お客さまへの付加価値の提供に努めてまいります。

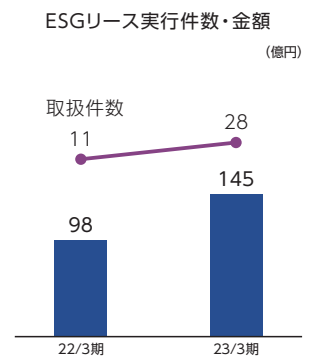
《ほくほくビジネスマッチングの主な例》

- ・食に関する販路・仕入先の拡大
- ・システムの導入や販路拡大
- ・商品設備の販路拡大
- ・コンサルティング会社の紹介
- ・不動産取得・売却(仲介経由)



資金調達手段の多様化

北陸銀行と北海道銀行は、北銀リースとの連携を通じて、お客さまの資金調達手段の多様化を図っております。環境に配慮したESGリースの促進を行い、地域の脱炭素化に貢献してきました。引き続き地域のお客さまを通じて脱炭素社会に向けた取組みをグループ全体で行ってまいります。



北銀リースへの出向を通じて

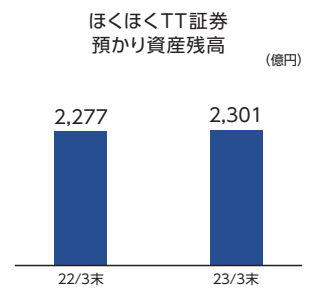
出向にあたり①営業店との架け橋になること、②グループ一体でお客さまのニーズに最大限取組むことを軸に活動してきました。特に若手職員にとっては声がかかりやすい存在として営業店との架け橋になることができたほか、若手職員の育成にも貢献できたと思っています。また、銀行だけでは対応できないサービスをグループ一体となって提案することで、ほくほくFGとしてお客さまの多様なニーズにお応えすることができたと感じています。



北陸銀行 本店営業部  
調査役  
関口 雅隆

運用提案の高度化

北陸銀行と北海道銀行は、ほくほくTT証券との連携を通じて、お客さまに専門性の高い資産運用相談やコンサルティングサービスを提供しております。引き続き、お客さまの多様なニーズに対応すべく、グループ連携を強化してまいります。



地域のお客さまに  
フルラインナップの金融商品を提供

当社では、合併先の東海東京グループから商品ラインナップや証券システムの提供を受けて営業活動を行っています。専門性の高い人材研修体系や市場調査レポート等による情報力は、銀行と異なる知見での顧客提案につながっており、銀行グループでの証券子会社の存在意義を実感しています。

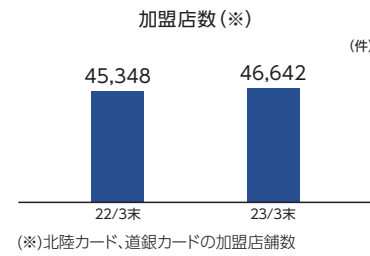


ほくほくTT証券 帯広支店  
(北海道銀行より出向)  
課長  
田口 晋平

デジタル化・DX支援

北陸カード・道銀カードによるデジタル化

北陸カードと道銀カードでは、銀行と連携してキャッシュレス化推進に向け、加盟店取引を拡大しております。様々なお客さまの課題解決に取り組み、地域のデジタル化を推進することで、地域社会の生産性向上と利便性向上を促進してまいります。



トピックス

北陸カードでは、「富山空港直行バスへのタッチ決済の導入」や「富山市内循環バスへのタッチ決済による交通乗車の実証実験の実施」等、交通機関と連携したタッチ決済を導入することで、地域の利便性の向上と、富山の観光都市としての魅力向上に寄与しています。



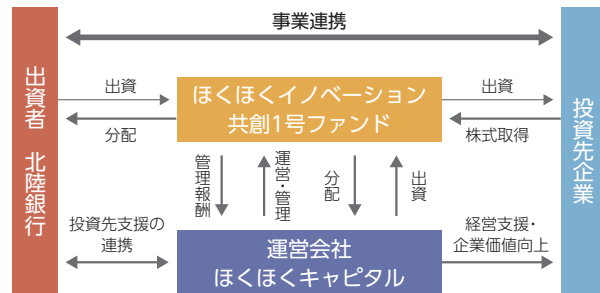
北銀ソフトウェアによるDX支援

システム会社である北銀ソフトウェアは、グループ内のシステム開発受託や運用に加え、システム販売やお取引先のITコンサルなども担っております。また、北陸銀行・北海道銀行に導入した「預かり物件管理システム」を他の地域金融機関に販売も行っております。金融分野で培った高度で効率的なシステム開発力を活かして地域のDX支援を進めてまいります。



ファンドによる支援

北陸銀行ならびにほくほくキャピタル株式会社は、2022年10月に、先端的な技術やサービスを有するスタートアップ企業を支援する「ほくほくイノベーション共創1号ファンド」を設立しました。地域の将来を担う起業家の発掘や育成に加え、革新的な事業により成長が期待され株式公開を目指す企業等を対象として、幅広いステージの企業に投資を行ってまいります。



ファンド担当



ほくほくキャピタル (北陸銀行より出向) 田中 裕仁

ほくほくキャピタルへ出向し、スタートアップへの投資業務を行っております。投資を通じて、全国に展開する先端技術・サービスを有するスタートアップと協業することで、ほくほくFGのお客さまおよび地域経済のイノベーションに貢献していきたいと考えています。本業務では、これまで学ぶ機会の少なかった知識も広く必要となるため、この経験は自身にとって貴重な学びの機会にもなっております。資金面だけでなく、今後は地元の起業家・スタートアップの育成などのお役に立てる人材となれるように、今後もスキルアップに努め、地域に貢献していきます。

FG合同新入社員研修会

グループ総合力強化の一環として、グループ発足後初めて合同の新入社員研修会を実施しました。研修会では、代表者等との活発な意見交換やグループの「歴史」と「未来」をテーマにグループワークを行いました。柔軟な発想を元にグループ戦略の検討を行うことで、FG社員としての意識醸成に寄与しております。



グループの融合とシナジーの極大化  
～新たなグループ拠点として「ほくほく札幌ビル」が竣工～

当社は北陸銀行札幌支店として長年にわたり営業してきましたが、ほくほくフィナンシャルグループの新たな拠点として生まれ変わります。北陸銀行と北海道銀行、グループ企業が共同利用する施設として、グループの融合とシナジーの極大化を図るとともに、地域の成長と発展に努め、新たな共有価値を創造してまいります。「ほくほく札幌ビル」は、環境配慮型の持続的なオフィスビルであり、「CASBEE札幌」Aランク相当の機能性と環境性を確保しております。



「ほくほく札幌ビル」の概要

名称：「ほくほく札幌ビル」  
規模：地上13階、地下3階  
建物用途：北陸銀行札幌支店・北海道事務所  
北海道銀行本部機能・グループ企業  
竣工時期：2023年度中(予定)

ほくほく札幌ビルの7つの軸

1. 歴史の継承と未来への飛躍
2. 地域社会との共栄
3. グループの融合とシナジーの極大化
4. お客さまに快適な空間とサービスを
5. 新しいワークスタイルと多様性
6. レジリエンスに立脚したBCP対応
7. 環境負荷の低減

環境への取組み Policy

- Policy 1 環境配慮型の外装デザイン
- Policy 2 高効率な設備機器の採用
- Policy 3 設備機器の自動制御による運転の最適化
- Policy 4 地域冷暖房への接続で面的な環境配慮

CASBEE札幌

建築物の環境効率 **BEEランクA** (BEE=1.5)  
ライフサイクルCO<sub>2</sub> ☆☆ (89%)  
一次エネルギー消費量 **BEIm=0.79**

ほくほく札幌ビル担当



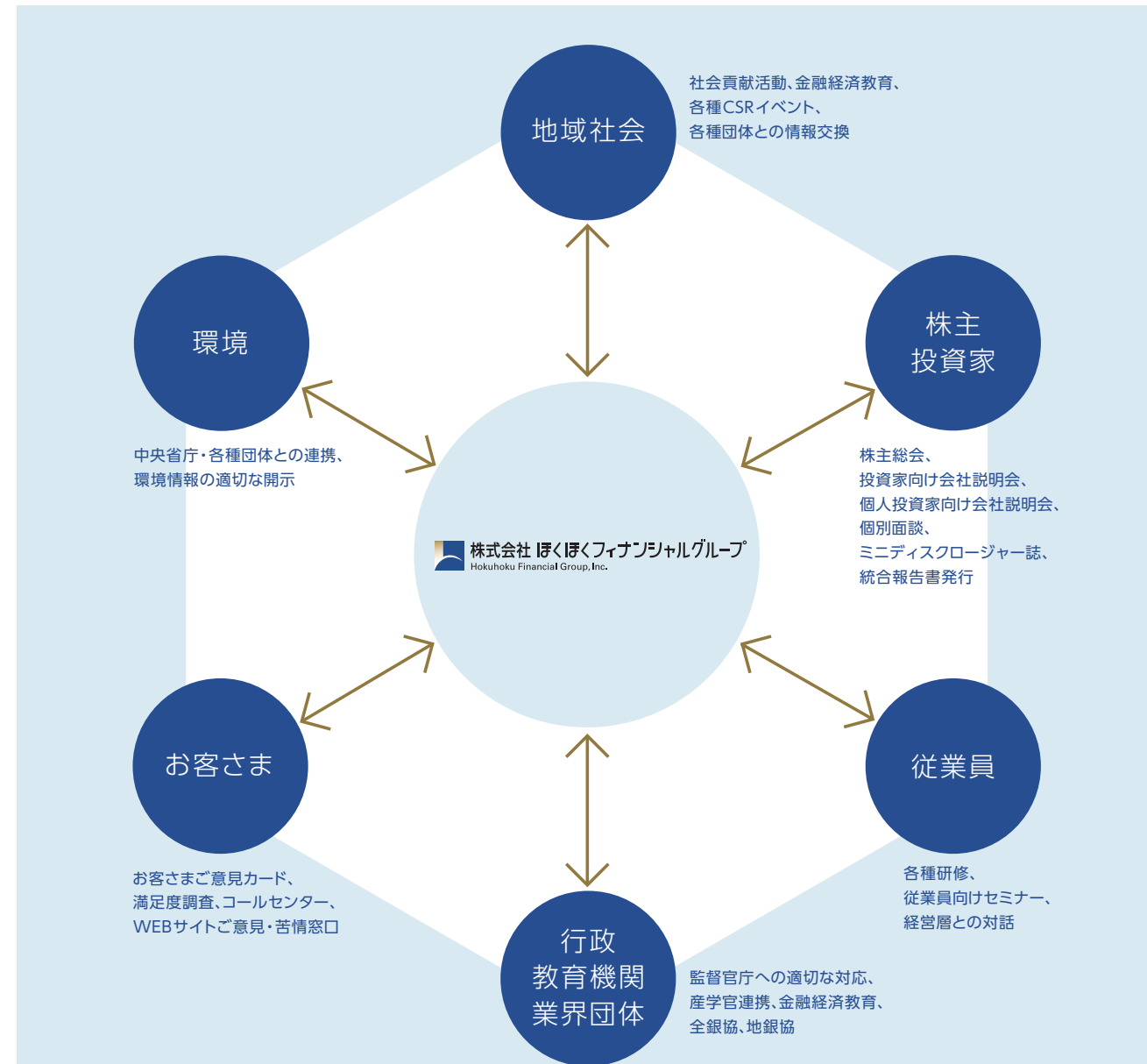
北陸銀行 経営企画部 総務室長 中村 佳典

北陸銀行と北海道銀行、グループ企業の連携拠点ができることで、今まで以上にグループの融合が図られると感じています。経営理念である「地域共栄」のもと、グループ総合力を発揮し、様々な金融サービスを提供することで、今後もお客さまと地域のさらなる発展に貢献していきます。

# ステークホルダーコミュニケーション

## ステークホルダーとのかかわり

ほくほくフィナンシャルグループでは「お客さま」「環境」「地域社会」「株主・投資家」「従業員」「行政・教育機関・業界団体」といった様々なステークホルダーの皆様とのかかわりを通じて、持続可能な社会の実現に向けて取組んでまいります。



### ほくほくフィナンシャルグループ ディスクロージャー・ポリシー

#### 基本方針

株式会社ほくほくフィナンシャルグループ(以下、「当社」とする)および当社子会社、関連会社は、「広域地域金融グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、地域とお客さまの繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます」という経営理念のもと、株主・投資家、お客さま、地域社会、従業員等あらゆるステークホルダーに対し、積極的な情報開示を行います。また、様々なコミュニケーション活動を通じて、ステークホルダーとの信頼関係を維持・発展させていきます。

## 株主・投資家

ほくほくフィナンシャルグループでは、株主・投資家の皆さまとの対話の場を重視しております。2022年度は、5月及び11月に機関投資家向け、6月に個人投資家向け会社説明会を開催し、当社グループの概要、業績および戦略等についての説明機会を設けております。足元では、2023年5月に機関投資家向け会社説明会をハイブリッド(集合+Web)形式で、6月に個人投資家向け会社説明会をWEB形式にて開催しました。また、説明会に社外取締役が参加するなど対話の充実を図っております。



## 環境

北陸銀行および北海道銀行は、基幹系システム「MEJAR」を共同運営する横浜銀行、東日本銀行、七十七銀行および広島銀行とともに、サステナビリティ分野の商品サービスに関する連携協定「MEJARサステナビリティソリューション連携」を締結いたしました。各行ではお客さまの脱炭素化支援などに積極的に取組んでおり、今後サステナビリティソリューションに関する情報の共有し、地域の脱炭素化、地域経済の発展に貢献してまいります。

## 地域社会

成年年齢の引き下げや、高等学校の学習指導要領に投資信託等金融商品の学習が明記されるなど、金融リテラシー向上への取組みが地域金融機関に対して期待されており、ほくほくフィナンシャルグループも初等・中等・高等教育や、自治体・企業職員への社会人教育において、金融経済教育や職場体験を実施しております。高齢化やキャッシュレス化が進む一方で、架空請求や不正取引等の金融犯罪が増加しており、金融の仕組みや消費者としての正しい知識を理解し、自律的に金銭感覚・道徳観念を形成できるよう、地域社会と連携しながら取組みを進めてまいります。



## 行政・教育機関・業界団体

北陸銀行および北海道銀行は、行政や教育機関、各種団体との連携を通じてコミュニケーションの強化を図り、地域のニーズと研究シーズとのマッチングや各地域の特徴や強み、抱える課題などに応じた各種取組みを積極的に連携・協力しております。2022年度末においては、49の自治体と協力関係を構築しており、産学官連携による地方創生の取組みを進めております。



## お客さま

北陸銀行および北海道銀行は、お客さまの声に真摯に耳を傾け、より良いサービスのご提供・商品のご案内に役立てるため、資産運用のお取引をいただいているお客さまへのアンケート調査を実施しております。アンケートについては、お客さまが企業のブランドや商品・担当者に高い関心を持ち、「知人やご家族にどの位勧めたいと思うか」を数字に表したNPS® (Net Promoter Score®) を活用しております。2022年度も2020・2021年度に引き続き、2行ともに本アンケートに参加した地方銀行50行の平均を上回る評価をいただきました。

## 従業員

北陸銀行および北海道銀行では、役員と従業員の対話を通じて従業員とのコミュニケーションを活性化させる場を設けております。北陸銀行では、経営陣が経営戦略や想いを伝え、従業員の生の声を聴くため、経営陣とのフリーディスカッションを実施しています。当社グループの進むべき方向性を経営陣と従業員が共有し、スキルアップやキャリア形成を考える機会となっております。北海道銀行は、70周年を機に経営陣と従業員が直接対話する「Doトーク」を開催しております。「働きがい」や仕事への「想い」、「本部施策」などをテーマに、自由闊達に意見交換を行っております。オンラインも活用しながら、従業員との対話促進を図り、行内のコミュニケーションを活性化させてまいります。

